

- 実現すべきフィジカルインターネット（2040年頃）のゴール・イメージは、どのようなものか
 - フィジカルインターネットの実現に必要な要素とは何か
- 例) ①ユニットロードシステム（標準化）の確立、②業種横断的な共同輸配送プラットフォームの構築、
③企業の物流（調達・販売）も含めたサプライチェーンマネジメントの徹底、④物流DX（機械化・デジタル化）
- 我が国の商流・物流を巡る環境、企業特性、産業構造等を踏まえた上で、我が国においてフィジカルインターネットを実現する上では、どのような課題を、どのように克服すべきか

【参考：フィジカルインターネットの定義】

1. モントルイユ、バロー、メラー

（出典：Ballot, E., Montreuil, B., Meller, R. D., The Physical Internet（荒木勉（訳）フィジカルインターネット 企業間の壁崩す物流革命）

- フィジカルインターネットは、相互に結びついた物流ネットワークを基盤とするグローバルなロジスティクスシステムである。その目指すところは効率性と持続可能性の向上であり、プロトコルの共有、モジュラー式コンテナ、スマートインターフェースの標準化を図る。

2. ALICE（欧州物流革新協力連盟）（出典：SENSE project Deliverable D2.3. Roadmap to the Physical Internetより経産省作成）

- フィジカルインターネットの概念は、貨物輸送およびロジスティクスサービスの完全な相互接続性（情報・物理・財務のフロー）を実現することを目的としており、これらのサービスを、相互接続されたサブネットワークを含む大規模な異種ロジスティクスネットワークの一部としてシームレスに使用できるようにする。
- ロジスティクスネットワークのシームレスな物理的、デジタル的、およびプロセス的接続には、コンテナ・スワップボディ・パレット・ボックスなどのユニットロードの輸送、保管、ハンドリングと、エンドツーエンドのサプライチェーンにおける決まり事の正しい実行を保証するための関連プロセスが含まれる。